消化器内科 日本消化器内視鏡学会認定指導連携施設
増山胃腸科クリニック
大田原市加治屋83-4-13
☎(0287) 23-6321

歯科
ふじしま歯科
宇都宮市若松原2-9-6
☎(028) 654-2020

もりや眼科
小山市駅東通り1-15-12
☎(0285) 38-7996


企画・制作／(株)宣通
TEL.(052)979-1602 広告

# 教えて!! ドクター Q&A

**Q** 80代の父親が人工透析をすすめられました。高齢者が透析を受けることについて、注意点があれば教えてください。

**A** 人口全体の高齢化や治療の進歩により、透析を始める人の高齢化が進んでいます。現在、透析を新たに開始する平均年齢は約71歳で、80代で透析を始められる方ももはや珍しくありません。

特に高齢で透析を始めるにあたっては注意点があります。一つ目はご本人の負担です。透析は軽い運動をしている程度の負担が心臓にかかります。蓄積水分の除水を短時間で行うため、透析中や透析後に血圧が下がることもあります。透析後の倦怠感も強いです。これらは、体力的に低下している高齢者にはとても辛いことです。次にご家族の負担です。通院サポートが必要になる可能性があります。透析の合併症で入院や救急搬送の可能性が高くなり、都度ご家族のサポートが必要です。透析導入後に認知症を発症して、透析中付き添いが必要なケースもあります。

一度透析導入をすると、途中で中止するハードルは高く、生涯続けることになります。ただし、透析により余命を延長し、より充実した人生を送れる可能性もありますので、十分に検討と相談の上、判断されるべきと思います。

院長　小倉　学
(おぐら内科・腎クリニック)

2001年山形大学医学部卒業後、2010年医学博士号取得、新小山市民病院にて透析センター長、腎臓内科科長を経て、2013年7月おぐら内科・腎クリニック開院。
日本透析医学会認定透析専門医、日本腎臓学会認定腎臓専門医。
「患者様の症状に耳を傾ける」をモットーに、地域医療のため尽力している。